

## 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：令和8年3月13日

アンケート回答期間：令和8年2月1日～令和8年2月15日

事業所名：児童発達支援 放課後等デイサービス Liebeしるやま 対象人数（保護者）9人 回答者数 4人 回収 44.4%

	チェック項目	回答					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見		
環境・体制整備	1	3			1		限られた活動スペースの中で、活動内容や利用人数、その日のお子様の様子に合わせて過ごしやすいスペースづくりに努めています。	
	2	3			1		人員配置は必ず遵守し、安心して預けて頂けるような職員配置をするよう努めています。	
	3	4					引き続きお子様に分かりやすいよう掲示物の工夫を行ってまいります。障害特性に合わせられるよう環境の見直し等は今後も定期的に行ってまいります。	
	4	4					毎日の清掃や消毒は徹底して行っています。お子様が少しでも心地よく過ごせる空間になるよう職員で話し合いを行い検討を続けてまいります。	
適切な支援の提供	5	4					より特性を把握できるよう支援スキルの向上や、より適切な計画書の立案を行ってまいります。また個々で対応できるよう環境調整も行ってまいります。	
	6	3			1		支援プログラムを明確化し周知することを強化してまいります。また、内容がずれないように定期的に全職員で見直しを行い、再度把握できるよう努めています。	
	7	4					今後もより正確に寄り添った児童発達支援計画の作成が行えるよう、日々での情報共有や聞き取りを行ったり、適切なアセスメントがとれるよう能力向上にも努めてまいります。	
	8	2	1		1		職員で児童発達支援ガイドラインの見直しを行い、支援内容を把握し、適切に提供できるよう努めています。	
	9	3			1		全職員で児童発達支援計画を見直す機会設け、適切な支援が行われているか、適切な目標設定が行えているのかを定期的に検討することを続けてまいります。	
	10	4					今後も様々な活動プログラムを提供できるよう保護者様にもアンケート等の実施を検討していくなど多方面から支援できるよう努めています。	
	11	2			2		現在はなかなか交流が持ていないため、安全に交流できる環境を整え実施できるよう検討してまいります。	
保護者への説明等	12	3	1				契約時に説明する際により分かりやすく丁寧に説明が行えるよう、書類内容の見直しや読み直しを行ってまいります。	
	13	4					送迎時や面談時にお話することを継続し、HUGでの閲覧方法も周知していきたいと思っております。	
	14	1		1	2		送迎時に話をするだけでなく、事業所でお子様の様子をみていただくことやご家族様も参加できる支援プログラムの立案を行い、家族支援プログラムの機会を設けてまいります。	
	15	4					今後も日頃の連絡帳の記載や送迎時の情報共有を大切に、保護者様とより適切に共通理解がもてるよう全職員努めてまいります。	
	16	3			1	お忙しい中すみません。なんとなく、以前より機会が少なくなった気がします。	保護者様のニーズにお応えできるようお話をさせていただける機会を設けてまいります。	
	17	4					今後も一人一人のお子様の特性やその日の状況に合わせて支援に入らせていただきます。	
	18	1			3	我が家は参加してはいないのですが、みかん狩りや、夏祭り、運動会などを催していただいているのでありがたいと思っております。	会社全体でのイベントにしか参加が出来ていないため、事業所でもご家族様やきょうだいにも参加していただけるよう体制を整え、プログラムを立案し実行していきたいと思っております。	
	19	4				いつも助けていただいております。ありがとうございます。	今後もご相談していただきやすい環境、受け入れが出来る体制を整えてまいります。	
	20	3	1				一人一人のお子様に対しどうのように意思疎通が行えるかを職員間で共有検討を続けてまいります。保護者様へも適切に分かりやすく情報伝達が行えるようHUG等も継続していきながら、職員間で検討を行ってまいります。	
	21	4					今後も情報発信を継続して、より分かりやすくお伝えできるよう内容等の検討を続けてまいります。	
	22	3	1				保護者様に安心していただけるよう書庫の鍵管理やSNS等での発信方法など徹底していくことを続けてまいります。	
非常時等の対応	23	3			1		事業所のみで完結するのではなく、保護者様にもご理解いただけるよう情報開示や訓練を行ってまいります。	

	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4				・実際に見ているわけではないですが、スケジュールを見ると避難訓練をしていただいでいて、息子自体もきちんと学んでいるようなので助かります。	非常災害に備え迅速適切に対応できるよう職員での訓練も続けていきます。また、子供たちへの理解を深めるためのプログラムも立案実行していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、	3			1		今後も安心してご利用いただけるよう情報の発信やヒヤリハットに対する対策等を充実させていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について	4					まずは事故が起きないよう十分留意して支援にあたらせていただきます。起きてしまった際は、迅速適切に対応できるよう全職員で定期的にマニュアルの見直しを行っていき
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4					お子様により安心して通っていただけるよう、環境調整や人員配置等の充実を努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					今後も楽しく通っていただけるよう様々なプログラムの提供や居心地よく過ごしていただける環境調整等に努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	1			満足しているからこそ4月から月曜日も通いたかったと言うわがままがあります。すみません	より満足していただけるよう普段からの情報収集や環境変化の先読みを行い早い段階から調整を行い、様々なニーズに対応できるよう努めています。
1年の振り返りと総評	30	事業所に通われてからこれまでで、保護者様が心に残ったエピソードを教えてください。	3			1	・通い始めて、最初のころ、全然喋れなかったのが喋れるようになってきて、みなさんに本当に感謝しています。 ・パンベルで食べたいパンを自分で持ってきたこと。いつも買うパンだったので、買い物する様子をよく見ていたのだな、と思いました。	エピソードありがとうございます。実際のお話を聞くことができ、職員一同嬉しく思います。今後もお子様と保護者様に寄り添い、安心して楽しく通い、成長できる場になるよう、しりやま職員一同努めてまいります。今後ともよろしく願っています。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通して、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。